

# 令和4年度 こども園評価・自己評価結果公表シート

令和5年3月31日  
野の百合こども園 園長

## 1、評価項目の達成及び取り組み状況・今後に向けて

評価項目	取り組み状況
1、法人理念の理解 職員の道徳、倫理について	○「理念や目標に共感しているかどうか」という問いについて、昨年度と同様、保護者・職員共にA評価でした。今後も、博愛の精神を大切に子ども達を育てていきます。
2、教育及び保育について (めざす子どもの姿)	○グランドデザインに沿って、子どもたちが主体的に活動し「生きる力と思いやりを持った子に育つ」よう指導計画を作成しています。 ○「しなやかな身体」―規則正しい生活リズムの定着と朝の排便習慣について、保護者アンケートの評価が昨年に比べて低くなりました。今後も「野の百合元気アップ週間」などを通して、規則正しい生活リズムと朝の排便習慣の定着を図ります。 ○「豊かな心」―園庭や散歩に出かけて南魚沼の豊かな自然を感じることができました。今年の秋は、熊の出没もほとんどなく、春よりも歩く距離を伸ばして散歩をすることができました。家庭での外遊びの機会については、年々評価が高くなっています。今後も自然の中でいきいきと遊ぶ姿を支えてまいります。 ○「学びの根っこ」―「子どもの話に耳を傾けているか」についての保護者アンケート評価が昨年に比べて11.5%高くなりました。家庭で子どもとしっかり向き合おうとされている結果だと思えます。こども園でも日々の語りかけや会話から「話す力」と「聞く力」を育ててまいります。
3、教育及び保育環境について	○子ども達にとって周りにいる保育者が大切な環境であることを意識して関わりました。 ○園庭環境について、毎年、木々や築山・小川など自然を感じる環境づくりに努めています。鬼ごっこができる広い原っぱの整備が始まり、来年度「芝生の広場」がオープンします。
4、家庭、地域との連携について	○新型コロナウイルス感染拡大予防のために玄関までの送迎としていましたが、11月より従来通りの送迎方法に変更しました。担任と話をしたりクラスの様子を見たりする機会が増え、保護者アンケートの評価も高くなりました。来年度は、親子行事や保護者を招待しての誕生会などを再開し、保護者との共同活動を少しずつ増やしていきます。 ○消防署・地域の方と合同の避難訓練を行いました。温かく支えてくださる地域の皆様に感謝しています。

5、保健、安全管理について	<p>○年間の安全計画・保健計画に基づいて管理と教育を行いました。</p> <p>○保護者・職員アンケートでは両項目共に A 評価でした。</p> <p>○今後も清掃や消毒業務、子どもの体調管理等を徹底していきます。</p>
6、職員の専門性に関する研修・資質の向上について	<p>○感染対策のため、今年度も福社会合同研修をオンラインで開催しました。六日町キリスト教会の牧師先生を講師に迎え、こども園の理念である「キリスト教博愛精神」についての学びを深めることができました。</p> <p>○新潟県保育事業研究大会で0歳児の研究発表を行いました。福社会合同研修会でも発表し、職員間で学びを共有しました。</p>

### 3、こども園関係者評価委員の評価

外部評価委員

令和4年度は新型コロナウイルスによる感染者数は徐々に減少しつつありましたが、完全に収束したというわけにはいきませんでした。なお、各種さまざまな制限が課された状況下ではありましたが、御こども園におかれましてはこどもを真ん中に据えた教育・保育活動がほぼ正常に近い状態で実施されました。これもひとえに園長先生を中心に、全職員の方々による多大なるご尽力の賜物と受け留めております。新型コロナウイルス感染予防対策をはじめとして、安全面に配慮した適切な環境づくりや諸々の対応策を苦慮され、大きな成果を上げられておられることに対しまして心から敬意を表します。

#### ○ウイズコロナでの多様な対応について

感染状況も大分落ち着き、国からマスク着用についての指針も出されました。これらを受けて5月8日には、冬季インフルエンザ並みの第5類に移行されるという内容も既に発表されております。マスクの着用については個人の判断に委ねるということで周知されているようです。大人も含めて多くのこどもたちの中には、予防を主とする感染対策のみではなく、その人個人個人の理由(意味する事柄)により外せないとする場合もあることから、一律に「マスクを外しましょう。」ということではなく、個々人の判断に配慮した対応に心がけたいものです。これから、社会生活全般においても平時に戻す取組が加速化していくことと思われます。新型コロナウイルス感染対策の一つとしてのマスク着用に限らず、様々な様式が3年間かけて習慣化を目指して定着してきたものです。焦らずにゆるやかに徐々に戻していくような心もちで進めていきたいものです。

→新型コロナウイルス感染対策として、うがい、手洗いの励行、マスクの着用をはじめとして、アルコール消毒や換気、ソーシャルディスタンスなど細部にわたって様々な点について配慮され適切に実施されました。結果的に大きな問題もなく、子どもたちは伸びやかに活動ができ大きな成果をあげられました。

→かけがえのない子どもたちをあずかる園の先生方の職務は、実に並々ならぬ大変なお仕事ですが、今後も注意を怠ることなく常にアンテナを高く広く張りめぐらし、安全確保に徹し危機管理に心砕いていただきますようお願いいたします。

## ○コロナによる負の遺産とプラス遺産

新型コロナウイルス感染症の発症により、もたらされたマイナス部分はあまりにも強烈で大きな代償でありました。そうであったがために、逆のプラス面もあったことを見落としがちですが、これまで当たり前のこととして捉えていた既成概念を見直す良いきっかけとなりました。これからはそれらのプラス面として捉えられる遺産をいかに有効に活用していくかということが一つの鍵にもなることと思われます。

→保育・教育活動において、欠かすことのできない対面でのかかわりや指導。これまでは、直接的な対面によるかかわりを大切にされた保育や指導を行ってきましたが、集合・グループでの活動や三密状態を避ける等のさまざまな制限から、これまでの永い年月を経て培われてきた指導形態や指導方法等がいやおうなしにくつがえされた部分も出てきました。当こども園におかれましては、これらのことを全職員が一体感をもって受け留められスピード感をもって対応されました。結果的には難局を見事に乗り越えられ、大きな成果に結び付けられました。今後も多様な見方や考え方を大切に、臨機応変かつ柔軟性に富んだ行動計画を前向きに立案・実行していける資質や能力を高めていくことが重要なこととなります。

→これからの研修の在り方として、ハイブリット型の研修(対面とオンラインを併用した研修)やオンライン研修などを工夫して取り入れていくことを推奨します。こどもたちの前に立つためには、研修は不可欠。職務を遂行するために自分自身に課せられた使命でもあります。この3年間はコロナ禍にあり、思うような研修を計画することも受講することもできなかったことと思います。直接的な対面での研修はできなくともズームを活用としたオンライン研修やテレビ会議などを取り入れた研修方法を駆使され、自らの専門性を高めていただけたらと願っております。定められた一つの場所に集まらなくとも遠隔な場所においても受けられるまたは会議に参加できるという手法はコロナ禍にあったからこそ可能となった働き方改革の一つであり、大きな遺産の一つと捉えることができます。今後もプラスの遺産を大いに有効活用したいものです。既成概念の殻を破るよいチャンスと捉え、前向きに取り組んでいきましょう。

## ○こどものウェルビーイング(心と身体の健康を保ち、社会的にも継続的にも幸福感を得られる人生観)を高めるために

→全職員がウェルビーイングを高めることが大事。これまでも当然のごとくみんながずっと願ってきたことです。コロナとのかかわりにより、見方や考え方、捉え方等発想の転換をせざるを得ない状況もあり活動の見直し等未だ道半ばではありますが、働き方改革という観点からも見直すよい機会と捉えてみてはいかがでしょうか。

→六日町中学校区で取り組んでいる「元気アップ週間」とタイアップしての「野の百合元気アップ週間」実施の取組は、家庭と連携した野の百合独自の子育てプログラムの一つとしてとても素晴らしい取組です。ごく基本的な生活習慣といえる「早寝・早起き・朝ごはん・朝排便」の習慣化をはじめとして、メディアとの適切な付き合い方を通して有効活用の仕方を身に着け、読書の習慣を身に着けるための親子で絵本に親しむ取組は今後も家族ぐるみで継続してほしい取組です。こどもたちが家族、地域の一員として、心も身体も健やかに幸福感をもって生活できる基盤を培いたいものです。

→「絵本の世界によろこば」と題して取り組まれた「我が家のおすすめ絵本」特集の中で、親御さんから寄せられた沢山の「絵本の紹介メッセージ」も素敵でしたね。紹介メッセージを読まれて、早速我が家でもやってみようと思われた親御さんもいらっしゃったようですが、家族とのかかわりを通して自然体かつホットな雰囲気の中での子育てに触れられ心温まりました。ぜひ、継続して輪が広がるとよいですね。

○重点目標で目指す子どもの姿について

こども園の各年度に目指す目標の達成度等をみるための確認作業はとても大事な取組です。客観的な評価を得るための手段としての保護者向け、職員向けアンケート調査はとても有効な資料となります。アンケートの回収率も年々高まり、各項目に対する評価も少しずつ高くなっていることが窺えます。

保護者アンケートには、例年のように先生方からこどもたちをきめ細かく温かく見守っていただいていることに対する感謝の声が随所に寄せられています。これは常に高みを目指し取り組む先生方職員の皆様の真摯な姿と充実した教育・保育活動が実践され、大きな成果を上げられている証です。今後も健康・安全面等にご留意いただき、有能な存在でありますかけがえのない子どもたちが健やかに育つ認定こども園として、さらに邁進されますことを願っております。

